

労働行政法規の制定はより急務である」と……かかる反動期に於て我々がこゝに主張する該案の目的は、組織未組織労働者の死活問題を制する分岐路を決定すると共に、勢力成長の機会を左右するものともなるのである。

八 購買部設置に関する件

提 案 理 由

今や世界の至無産階級に於て、消費組合運動の機動的な拡大強化が無産階級必須の條件として叫ばれてゐる。生産管理若くは支配に、何等の権限を有たぬ無産階級にとっては、飢餓線へくゞと近赤的に低下する購買能力の幾分の防衛と、中間搾取を利用することによつて利食生活を営みながら絶へず苦しく我等を圍する不勞所得階への實踐的抗争の一機關としての任務をもつ消費組合の發展は、我等が生産管理の實権を握り得るための組織の異相と相俟つて重大な意義をもつものである。又組織の場合に於ける消費組合の任務は、その指導部に於て労働組合以上の働きをたねばならない。或はもし、そこまで行かないにしても今日迫られた消費経済の立場から、よき品を正價で配付することより極度に窮乏せる無産階級の生活を救ぐるためにも組合購買部設置の必要は刻下の急務として我等に課せられて居る。

九 聯盟組織確立に関する件

提 案 理 由

云ふまでもなく、日本労働従業員組合聯盟は我が神戸御友同志會の主體である。之が勢力の増大なき限り於て我等が生活の解放はあり得ないのである。労働組合の勢力とは何か、それは組織の擴大であり、財力の充實である。最近中央集權的に組織の變革すら論ぜられつゝある今日、これが實現の第一段階として、我等は先づ經濟的充實をはからんとするものである。